

最近の AI でできること

東京都青梅市 峯木 貴

子供たちに古典文学の魅力を伝えるため、著作権が失効した小説を基に絵本を制作するプロジェクトを進めています。現在、2冊の作品を完成させましたが、これからさらに数を増やしていく予定です。

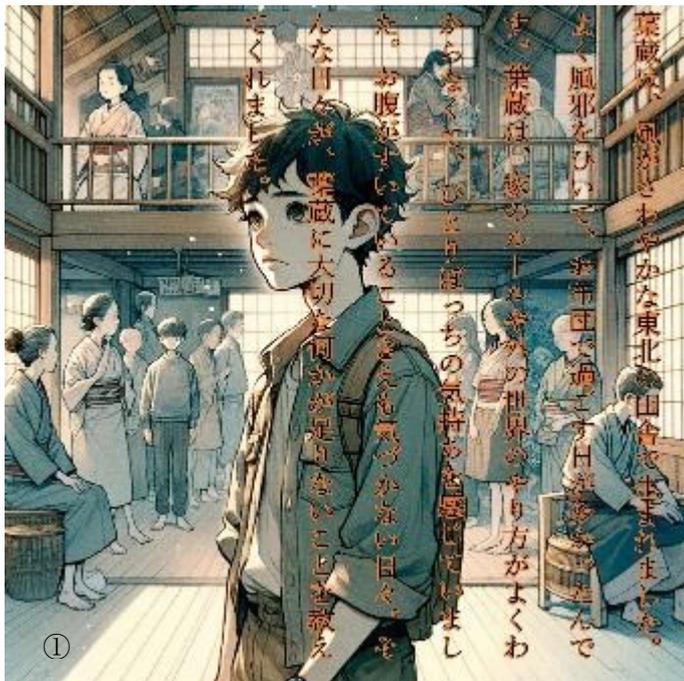
制作プロセスは以下の通りです。

まず、インターネットから著作権が失効した小説を選び出します。

それから、私の作った「絵本クリエイター」という AI ツールを使用して、選んだ小説の要約を作成します。この要約は、4~5つの段落に分けて整理されます。

次に、小説の全体を象徴するイメージで表紙をデザインし、それぞれの段落に基づいたイメージでページを作成します。

最終的に、これらのページと表紙を組み合わせて、絵本が完成します。



『人間失格』 太宰 治

- ①葉蔵は、風がさわやかな東北の田舎で生まれました。よく風邪をひいて、お布団で過ごす日が多かったんです。葉蔵は、家のルールや外の世界のやり方がよくわからなくて、ひとりぼっちの気持ちを感じていました。お腹がすいていることさえも気づかない日々。そんな日々が、葉蔵に大切な何かが足りないことを教えてくれました。
- ②葉蔵は、みんなと仲良くなる特別な方法を見つけました。それは、笑顔の道化師になること。この道化で、少しずつでも友だちができました。でも、心の中ではいつも不安がつきまとい、写真で見る自分の笑顔がとても寂しく感じられました。
- ③葉蔵は、本当の気持ちをなかなか話せませんでした。いつも何かの役を演じているようで、家族や友だちとの本当の絆を作ることができないんです。そんな生活が続くうちに、人と自分自身の複雑さに苦しむようになりました。
- ④「ぼくは、本当にしあわせだろうか？」葉造はいつも自分に問いかけます。他の人は葉蔵が恵まれていると思うかもしれませんが、葉蔵自身は、心の中で大きな苦しみを感じています。ぼくはどう生きてらいいのか、その答えを見つけることができずに、ますます深い孤独を感じていきます。